

「新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針」見直しに係る

地域説明会・地域意向調査の概要

1. 地域説明会の概要

(1) 開催目的

重点化方針の見直しにあたり、方針の必要性や考え方、見直し素案の内容などを市町村等に理解してもらう

(2) 開催日時及び開催方法

令和4年11月9日（水）及び11月10日（木）の2日間 オンラインにより開催

(3) 参加者

道内市町村関係者及び各総合振興局・振興局各課関係者
（参加者数：約290名、参加市町村数：約120市町村）

2. 地域意向調査の概要

(1) 調査の内容

地域に根ざした政策展開を図るため、素案に対する意見や地域として重点的に取り組む施策など地域の意向を把握する

(2) 調査結果

延べ意見数 49件（市町村23、振興局3）

(3) 主な意見

- ・ 2050年のカーボンニュートラルに向けて、また道が掲げる「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、再生可能エネルギーの最大限の利活用が一番の推進力となる。そのためには、新たな海底送電ケーブルの新設や特に電力系統の脆弱な送電網等の電力インフラの増強が不可欠。
- ・ 観光地へのアクセス、物流、災害への備えのほか、日常生活にも必要不可欠であることから、災害に備えた安全な道路環境の整備が必要。
- ・ 北海道は日本の食料供給地として最も重要であり、安定的に食料を生産するための、水田や畑などの農業用施設の整備が重要である。
- ・ ひがし北海道エリアの観光を推進するためには、今後の更なる自然体験型観光の増加が想定され、施設の整備を重点的に取り組む必要がある。
- ・ 児童・生徒数が急激に減少する中であって、小中学校の適正配置は喫緊の課題であり、これに伴う学校施設の更新が必要である。